

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援サービススマイルワン		
○保護者評価実施期間	令和 6年 4月 1日		～ 令和 7年 3月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和 6年 4月 1日		～ 令和 7年 3月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・こどもの発達や特性に応じて支援方法や環境を変えている。	・絵カードや写真など視覚的な方法で情報をわかりやすく伝えている。	・こどもの状況に応じた職員配置や環境整備について、適宜検討していく。
2	・様々な支援プログラムがある。	・多様性に応じた支援プログラムを日々行っている。	・各活動において、意味づけをして様々な視点から支援が行うことができるよう、バリエーションを増やしていく。
3	・安心感を持って楽しく来所している。	・家庭や学校以外での安心できる場所になるよう環境作りを行っている。	・職員との信頼関係の中で、楽しく安心して過ごすことができるよう、職員のスキル向上を目指していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者への非常時の対応の情報共有が足りていない。	・災害の発生に備え、対策をしていることや避難訓練の実施、防災センター外出の報告、周知が足りていない。	・日々の送迎時や面談等で伝えていく。お便りやSNS等で発信していく。
2	・保護者の開催、研修を行うことができていない。	・保護者に対して個別での対応となってしまっている。	・今後、検討していくことが望ましい。限られた時間の中で時間調整が必要。
3	・活動内容の周知がたりていない。	・保護者へのスマイルワンでの活動内容が伝えきれていない。	・活動の意図や支援内容を具体的に伝えていく。写真やSNS、お便りなどを用いて伝えていく。

事業者用公表

放課後等デイサービス評価表

2025/3/30

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・活動のスペースの広さや職員数は国の基準を満たしております。運動等の活動を行う際には周りの環境を整えて活動ができるように配慮しています。また、ホール内にはマットを敷きクッションフロアにし、安全面に配慮しております。 ・事業所の玄関に一段段差があるため、十分に注意しております。プレイルーム内は、スケルトンとなっており、各職員が全体を見渡せる環境となっています。棚の玩具の配置にも配慮し、整理整頓に努めています。 ・感染症対策や衛生面の管理につきましては、毎日の清掃・消毒・換気をし、各々の手洗いうがい等で環境整備を行っています。 ・職員配置数も曜日によって利用人数が多い場合は、職員を増員して対応しています。 ・活動に見通しが持てるようにホワイトボードに時計と写真を使用し、視覚的に分かりやすく知らせるなど配慮しております。さらに、必要に応じて個別の部屋で対応できるよう整備しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善を進めるため、日々の送迎時や連絡帳にて保護者の意見や要望の聞き取りを行うほか、面談や電話でのお話した内容をミーティングにて職員間で共有しています。この自己評価結果はホームページにて結果・改善点を報告しております。 ・第三者による外部評価は行っていませんが、今後検討していきます。 ・職員の資質の向上を図るために、社内研修や外部研修（発達支援研修やビジョントレーニングの研修）に参加する機会を設けています。内容は職員間で共有して職員の資質の向上を目指します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムは職員間で話し合ったことをまとめ、適切に公表しています。 ・個々のこどもに対して日頃からアセスメントを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、職員間で共有、話し合いを行い、個別支援計画を作成しています。 ・個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの提供すべき支援、本人支援等のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な支援内容を職員間で話し合いを行い、適切に設定されるよう努めています。 ・活動プログラムが固定しないよう、日々のミーティングで案を出し合っています。今後も屋内活動、戸外活動を含め、行事やイベントを企画していきたいと思います。 ・こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ支援を行っています。支援開始前、終了後には必ず打ち合わせを行い、支援の検証・改善に繋げています。 ・個別支援計画については、放課後等デイサービスのガイドラインの提供すべき支援の「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、職員間で話し合いをし、こどもの支援に必要な具体的な支援内容が設定されるよう計画を立てています。 ・こどもが自己選択できるよう、SSTの時間に個別に話をしたり、自己選択をし、自己決定したことによる達成感を感じてもらえるような支援ができるよう、職員間で話し合いを行っております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・サービス担当者会議や関係機関との会議には、そのこどもの状況を理解し、日頃から支援している者が参加しております。保健センターや小学校、家庭児童相談室との連携した支援も行っております。個人情報等適切に管理したうえで共有しております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制も整えております。今年度は保育の教育機関からのボランティアの受け入れも行いました。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校との情報共有では、時間割変更や行事等の連絡調整がスムーズに行えるよう心がけており、送迎時に確認を行う等適切に行っております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・今後、スマイルワンから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等行ってまいります。 ・放課後児童クラブや児童館との交流はありませんが、公園外出した際に地域の他のこどもと一緒に遊ぶ機会がありました。今後は放課後児童クラブや児童館との交流も検討していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・日々の送迎時や電話、メール、面談等でこどもの状況を保護者に伝え、課題や発達状況について共通理解に努めています。ペアレントトレーニングやご家族等の参加できる研修の機会を設けていないので、今後検討していきたいと思っております。ご家族のこどもへの対応については、専門的観点からアドバイスさせていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		○	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・運営規定、支援の内容、利用者負担額等につきましては安心して利用していただけるよう、丁寧な説明を心がけております。 ・放課後等デイサービス提供を利用する際には、こどもや保護者の意思を尊重し、こどもや家族の意向を確認する機会を設けています。こどもとは個別面談を行ったり、日常のコミュニケーション時に本人の意思を確認する機会を設けています。 ・定期的に家族等から子育ての悩み等に対する相談に応じ、面談や電話等で助言や支援に努めています。今後もより安心して通所していただける、対応してまいります。 ・今後もスマイルワン便りやSNS等で活動の様子を発信し、地域に開かれた事業運営を図っていきたく思います。 ・個人情報の取り扱いについても再確認し、今後も書類やデータの保管など十分注意していきます。 ・保護者会等を開催したり、保護者同士で交流する機会を設けていませんでしたので、今後検討していきます。そして地域に開かれた事業運営を行っていきたく思います。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・非常時の対応につきましては、各種マニュアルを作成しそれに基づいて研修を行っております。非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練等、必要な訓練を行っております。また、業務継続計画を策定し、非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っております。 ・契約時に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認し、食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応をしています。 ・安全計画を作成し、必要な研修を行い、日々の点検等安全管理を徹底し、支援しております。 ・ヒヤリハット事例集は作成しておりませんが、ミーティングで気づきを報告し合い未然に防ぐことができるよう確認しています。 ・虐待防止委員会、身体拘束について社内研修を行っています。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		

対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援サーブスマイルワン

公表日 令和 7年 3月 31日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	○		○		<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースは十分あり、構造化によりこどもが来所後何をするのか理解することができている、とご意見をいただきました。玩具はこどもが取りやすいように低い位置に配置し、整頓しております。 運動をすることが好きなので、スペースが狭いとの回答もありました。室内で運動を行う際には、周りの環境を整えてスペースを確保したり、屋外に活動に行き対応させていただいております。 今後も感染症対策や衛生面の管理を徹底し、心地よく過ごせる環境を提供していきたいと思ひます
	2 職員の配置数は適切であると思ひますか。	○				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思ひますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思ひますか。	○				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思ひますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思ひますか。	○				
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思ひますか。	○				<ul style="list-style-type: none"> 支援プログラムは職員間で話し合ったことをまとめ、適切に公表しています。個々のこどもに対して日頃からアセスメントを行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析をしたうえで、職員間で共有、話し合いを行い、個別支援計画を作成しています。 活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思ひますか。との回答でわからないとご意見がありました。活動プログラムに関しては、固定化されないよう、日々のミーティングで案を出し合っています。今後も屋内活動、戸外活動を含め、行事やイベントを企画していきたいと思ひます。 放課後児童クラブや児童館との交流はありませんでしたので、今後検討してきたいと思ひます。公園外出した際に、地域の他のこどもと鬼ごっこをして交流する機会がありました。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思ひますか。	○				
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思ひますか。	○				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思ひますか。	○				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思ひますか。	○				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思ひますか。	○	○		○	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	○		○	○	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○				<ul style="list-style-type: none"> 運営規定、支援の内容、利用者負担等につきましては安心して利用者負担額等していただけるよう、丁寧な説明を心がけております。 個別支援計画については、個別面談にて保護者に支援の目的や方針を理解していただけるように丁寧に説明をしていきたいと思ひます。 ご家族に対しての研修会やペアレントトレーニング、情報提供等を行う機会を設けていないので、今後検討してきたいと思ひます。ご家族へのこどもへの対応については、専門的観点からアドバイスをさせていただいております。 日々の送迎時や電話、メール、面談等でこどもの状況を保護者に伝え、課題や発達の状況について共通理解に努めています。スマイルワンの活動について、お便りやSNS等で発信し、地域に開かれた事業運営を図ってきたいと思ひます。 個人情報の取り扱いについても再確認し、今後も書類やデータの保管など十分注意していきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	○	○	○		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思ひますか。	○				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思ひますか。	○				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	○				

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○		○		○
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○		○		○
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○				○
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○				・非常時の対応についての周知されていない様子が見られました。スマイルワンでは、各種マニュアルを作成し、それに基づいて研修を行っております。非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っております。今後は周知する場面を作ったり、見える化を図ったり写真やイラストを用いるなどわかりやすい内容での発信を検討していきたいと思います。 ・今後も安心感をもって、楽しみに通所してもらえるよう安心安全な事業運営を図ってきたいと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○				
	29	事業所の支援に満足していますか。	○				